

●白子川源流まつり賑わいました！
皆さんご協力ありがとうございました！

「白子川を、もっと多くの人に知ってもらいたい」思いで始まった源流まつりも今年で19回目。10月27日は秋晴れのもと、大泉井頭公園は800人余りで大いに賑わいました。今年の目玉は井頭池での「ザリガニ釣り」。沢山の子もたちが(大人も)嬉々として楽しんだようです。たかがザリガニ、されどザリガニ。緊急駆除対象の外来生物にこれほど人気があるのはなぜでしょう。来年は20回目の節目になります。また源流でお会いしましょう！



★'WE LOVE 白子川の会' とは

白子川の中流で川活動しているグループで、当会がサポート中です。この会は、数年前に三原台の泉新小5年生が川に取り組んだ時に始まり、今は中学生になった生徒たちが中心メンバー、会の名前も引き継ぎました。そこに「何かやってるねー。行ってみようか?」と集まった親子が加わり、十数人規模に。

毎月第三日曜日の10時～12時に、東映橋(東映撮影所の裏)近くの「テラス」でワイワイと活動しています。
ぜひみなさんもご参加ください。



白子川源流の
定例活動 は、毎月第4日曜 午後1:30～
どなたでも川にはいれます！

編集後記

編集委員が交代してから2回目の源流通信をお届けします。まだまだ会の活動に編集作業が追いついていないのですが、一歩ずつ成長していけるよう努力していきたいと思ひます。

本年6月、当会は設立20年目を迎えます。この20年間を映し出し記録してきた「通信」。読み捨てるのはもったいない私たちの「歴史」です。今年から、会のホームページで過去のものをすべて見られるようになりました。とても読み応えあります。面白いです。ぜひご覧になってください。

11月の定例で植えなおしたヘデラも、今年はしっかり根を張っていくでしょう。どうぞ見守ってください。(喜)

10月～1月
活動記録

- 10/2(水) 大二小2年生白子川訪問
- 19(土) "源流の森"研究会
- 20(日) WE LOVE 白子川の会 ★
- 27(日) 第19回白子川源流まつり ●

- 11/3(日) 「保谷のアイと白子川」出展
- 5(火) 学芸大附属小3年生白子川訪問
- 7(木) 新河岸川流域連絡会に出席
- 9(土) "源流の森"研究会
- 10(日) めいゆうこどもまつり出展
- 17(日) WE LOVE 白子川の会
- 18(月) ウキヤガラ刈り
- 24(日) 定例活動、ヘデラ植付け(再度)
- 月末 小冊子『みんなの白子川』完成

- 12/14(土) "源流の森"研究会
- 15(日) WE LOVE 白子川の会
- 22(日) 定例活動

2020年

- 1/11(土) "源流の森"研究会
- 19(日) WE LOVE 白子川の会
- 26(日) 定例活動



これからの
活動予定

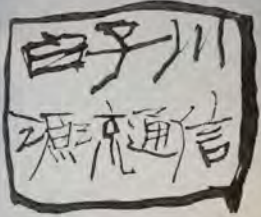
- 2/8(土) 白子川源流の総合環境調査
"源流の森"研究会
- 16(日) WE LOVE 白子川の会
- 23(日) 定例活動
- 3/14(土) "源流の森"研究会
- 15(日) WE LOVE 白子川の会
- 21(土) 第3回白子川講演会
(鶴見川流域への学習バスツアー)
- 22(日) 定例活動

- 4/11(土) "源流の森"研究会
- 19(日) WE LOVE 白子川の会
- 26(日) 定例活動

発行 白子川源流・水辺の会
<https://shirakogawa.tokyo/>
編集 小川 郁/喜多 浩子/高宮 信三郎/
永井 薫/日高 美南子
題字 宮本 沙海
発行部数 1,200部
共同代表 岡崎 一成 / 菅沢 博
事務局 練馬区南大泉1-10-5
03-3923-8430 菅沢 博
※この会報は年3回発行しています



当会はTOTOグループ「TOTO水環境基金」の助成を受けて活動しています。



シリーズ
水辺の鳥たち
◆ジョウビタキ

冬の渡り鳥、ジョウビタキは11月～3月頃まで白子川にいて、源流部でもよく見られます。そして季節が進むにつれ、人の近くまで寄ってきてくれます。雌は少し地味ですが、写真は雄。2018年2月、源流でノイバラの実を一心につついていました。近縁のヒタキ科の小鳥も愛嬌があって、写真愛好家の人気者。キビタキ、コサメビタキ、エゾビタキなども源流部で時に見られますよ。(写真と文 新居和夫)



2020年1月 第58号
「白子川源流・水辺の会」会報紙

第3回白子川講演会のお知らせ

— 鶴見川流域の総合治水事例に学ぶバスツアー —

白子川源流部に関係する行政計画に、「大型調節池整備計画」、「大泉井頭公園整備計画」、「都市計画道路整備計画」の3つがあります。大泉に残る貴重な自然環境を守り、まちがより豊かなものになるよう、これらの計画を行政と市民がともに考え、より良いまちづくりが行われるよう取り組んでいきたいと思ひます。

先進的な行政と市民の協働の例としては、鶴見川の総合治水事業が知られています。当会では、この事業での市民側の代表者で、「流域思考」の先駆者である岸由二慶應義塾大学名誉教授を講師にお迎えする講演会を企画しました。治水事業の現地見学もできるバスツアーです。

またとないチャンスです、ぜひご参加ください。

【日 程】2020年3月21日(土)

8:30前後にマイクロバスで大泉学園駅前出発
鶴見川流域(横浜市)に沿って治水事業地を視察
13:00～国土交通省「鶴見川流域センター」見学
同センターで講演会&ディスカッション
(講師:慶應義塾大学名誉教授 岸 由二氏)
夕方に大泉学園駅前帰着

【募集人数】20名(申し込み多数の場合は会員優先)

【参加費】無料(昼食代は個人負担)

【申込方法】詳細は同封のチラシ又は当会ホームページをご覧ください。<https://shirakogawa.tokyo/>
(トップページの「お知らせ」をクリック)



鶴見川の上空写真 ▶



読んでみよう！～図書館員が選んだ白子川の本～

『白子川を知っていますかー水辺再生に向けてー』

(白子川汚濁対策協議会/発行 1994)

白子川について調べている方に、必ずと言っていいほど紹介する本です。白子川の成り立ちや水質、流域の地形や遺跡、そこに暮らす生き物についてなど幅広く書かれています。また、第5章の「川と生活」には、白子川流域に暮らす年配の方々から聞き取った昔の白子川や当時の生活の様子が紹介され、地域資料として興味深い内容となっています。

『いきものつながり』

(練馬いきものつながり/制作 練馬区都市整備公社練馬まちづくりセンター/発行 2011)

23区内で緑被率(草地、樹林地や農地などの緑に覆われた面積の割合)が最も高い練馬区。豊かな緑とともに住宅街を流れる白子川も様々な命を育む場所です。本書では、私たちの身近な場所に暮らす‘いきもの’たちの紹介と彼らと共存していくための方法を提案しています。新書サイズのコンパクトな本ですが、フルカラーで写真も多く、練馬に暮らす‘いきもの’観察にぴったりです。

『東京の川を歩く 地図でたどる里川・用水・緑道』

(飯野頼治/著 さきたま出版会/発行 2015)

今も悠々と流れる大きな河から、今は緑道となっている川まで、都内を流れる102の河川が紹介されています。伊能忠敬に憧れたという著者が、タイトルそのままに実際に歩いて記した1冊です。河川周辺の史跡等も詳しく書かれ、情報量が多く読み応えがあります。

私たちの身近な白子川も「新河岸川にそそぐ里川」の一つとして掲載されています。

*3冊とも区内の図書館で借りることができます。 [大泉図書館・地域担当]



秋の屋敷林で「保谷のアイと白子川」企画

昨年11月3日(日・祝)、下保谷にある旧高橋家の屋敷林で、「保谷のアイと白子川」イベントが開催されました。主催は下保谷の自然と文化を記録する会と西東京市教育委員会で、東京文化財ウィーク2019事業の一環です。

アイ=藍は保谷の特産品でした。栽培した藍の葉を臼でひき、数日かけて発酵させて「すくも」を作り、それを固めた「藍玉」を白子川を使って運んでいたそうです。当日は藍染体験に加えて、子どものためのお茶席、東京オリンピック・パラリンピック応援コーナーなど楽しい企画もあり、子どもから大人まで多くの来場者がありました。

今回、当会にもお声かけがあり、白子川の生きものの展示と「白子川源流からの報告」としてミニ講演会をしました。楽しくも有意義な1日でした。

*写真は藍染め布をはぎ合わせて作られた着物と当会の展示風景



Welcome!

【新入会員自己紹介】松岡直子さん

練馬に住んで約50年、石神井台8丁目在住です。くらしの中で身近にできる環境活動として、公園などのみどりの手入れや、子ども向けの自然観察会などを、仕事をしながら細々と続けております。今はなき“八の釜”で、ねりまエコ・アドバイザーの仲間たちと、月1回湧水調査を行っていた事もありました。清掃活動で久しぶりに川の中に入った時、当時を懐かしく思い出しました。

これから皆さんと一緒に活動していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

定例活動報告

調査日時	調査項目	天気	気温(°C)	水温(°C)	水深(cm)	pH	COD(mg/L)	源流部流速(km/h)	源流部流量(L/秒)	主な活動 特記事項	参加人数 (うち会員名)	収集ゴミ 90L(袋)
2019年8月25日 (13時35分～)	源流部	晴	35	21.5	3	6.25	2	0.22	75	下流域でクレソンが大繁殖	15 (13)	5
	井頭橋			23.0	23	6.50						
	井頭～火の橋中間			24.0	27	6.30						
2019年9月22日 (13時45分～)	源流部	晴	26	18.3	9	6.93	4	0.288	122	カワモズグが繁茂し始めた	18 (12)	42
	井頭橋			19.2	28	6.52						
	井頭～火の橋中間			18.7	31	6.36						
2019年10月	源流まつりのため測定なし											
2019年12月1日 (16時00分～)	源流部	晴	9.8	17.3	25	6.75	2	0.257	257	井頭池の草刈りを行った	15 (14)	80
	井頭橋			17.1	35	6.61						
	井頭～火の橋中間			17.1	53	6.34						

・CODとは、水の汚れを示す指標で、数値が大きほど汚れている。当会では低濃度簡易測定キットで指標を判定している。2は最低値できれいな水、4～6は少し汚れている、8以上は汚れている。
 ・pHとは、酸性とアルカリ性を示す指数で、pH7が中性、7より大きいとアルカリ性、小さいと酸性。
 ・11月の定例活動は11月24日に実施したが、水質調査はできなかったため翌週の12月1日に行った。参加人数、収集ゴミは11月24日の数字。

